

管理運営評価シート(令和4年度)

施設名称	イヨボヤ会館・イヨボヤ会館駐車場・イヨボヤ会館公衆便所・三面川休憩所・村上市鮭公園	評価対象年度	令和 4 年度
指定管理者名	公益財団法人イヨボヤの里開発公社	所管課	農林水産課
指定期間	令和4年4月1日～令和9年3月31日(5年間)	評価者(課長)	小川 良和

1 令和4年度の実績

(1)事業実績

利用実績	入館者数34,713人(有料32,869人、減免1,844人)
サービス向上の取組	<ul style="list-style-type: none"> ・来館者へは、親切丁寧に対応するよう心掛け、積極的に「いらっしやいませ。ありがとうございます。」などと声がけを行い、歓迎の意を込めてお迎えした。 ・展示魚の説明は、簡潔な文書で、かつ分かりやすい内容で表示した。 ・地下水槽の塗装が古くなったことから、6月に4か所の水槽塗装工事を職員で実施し、魚を観察しやすい水色にした。 ・駐車場の白いラインが、除雪などにより剥落していたことから、8月に職員で塗装工事を行った。その際、大型バスの停車ラインを一部改善して、引き直した結果、駐車しやすくなった。 ・ミニふ化場の床と中央水路の塗装工事を職員で行った。床は、落ち着きのある灰色に、中央水路水槽は水色に塗った所、魚が観察しやすくなった。 ・9月から、ミニふ化場で、エサやり体験を実施した。お客様には大変好評で通年で実施することにした。 ・1月から「鮭の人工授精 ～展示にいたるまで～」と題し、採卵作業からふ化までの様子を4分程の動画にして、放映を開始した。お客様から好評をいただいている。 ・館内の案内・説明を希望される団体等には、職員が説明して対応している。

(2)管理経費

(単位:千円)

区分	前々年度 (2年度)	前年度 (3年度)	当該年度 (4年度)	合計	備考	
収入	指定管理料	55,181	55,545	60,615	171,341	基本協定額: 288,166 千円
	利用料金	0	0	0	0	
	事業収入	0	0	0	0	
	自主事業収入	329	530	681	1,540	
	その他	0	0	0	0	
	収入合計 ①	55,510	56,075	61,296	172,881	
支出	人件費	22,120	21,522	21,958	65,600	
	福利厚生費	3,694	3,430	3,512	10,636	
	事務費	9,232	8,585	9,469	27,286	
	管理費	20,135	22,008	25,676	67,819	
	水道光熱費	7,333	7,308	11,651	26,292	
	修繕料	2,245	3,891	2,718	8,854	
	使用料・リース料	727	670	905	2,302	
	手数料・保険料	786	789	771	2,346	
	委託料	9,044	9,350	9,631	28,025	
	事業費	0	0	0	0	
	自主事業経費	82	150	277	509	
その他	0	0	0	0		
支出合計 ②	55,263	55,695	60,892	171,850		
収支差額(①-②)	247	380	404	1,031		

2 共通評価項目

(記入者)自己評価…指定管理者 所管評価…施設担当課

評価項目	判断基準	自己評価	所管評価	備考 (◎、△、×のときは評価内容、その他特記事項があれば記入)
公の施設の平等な利用の確保	事業内容等は、一部の市民や団体に対して、不当に利用を制限又は優遇するものではない。	○	○	
	社会的弱者の公平利用について、配慮されている。	○	○	ミニふ化場への移動に関して、段差等があり車いすのお客様に対し職員が昇降の補助を実施している。
情報公開、個人情報保護の取組	情報公開、個人情報保護に係る措置が適切に講じられている。(書類の保管、社員への周知等)	○	○	
	情報公開、個人情報保護について、内部規約の整備や実施基準等が考慮されている。	○	○	
従業員の労働条件など法令遵守による管理運営	適切な労働条件や運営体制が確保されている。	○	○	
	関係する法律、条例等を理解し遵守している。	○	○	
業務仕様書の水準を満たしたサービスの提供	公の施設の管理運営にふさわしい理念やコンプライアンスの取組等、透明性の高い運営を行っている。	○	○	
	施設の設置目的を理解し、仕様書に指定された業務を実施している。	○	○	
創意工夫によるサービス向上と自主的な経営努力	サービス向上のための取組を行っている。	○	○	
	利用者の要望や意見を把握し、その対応方法が明確になっている。	○	○	
	施設やサービスの利用促進・拡大を図るため、適切な広報や的確な手法を行っている。	○	○	
	自主事業の実施方針及び内容は施設の設置目的を果たすものとなっており、効果的に実施されている。	○	○	
経営努力による経費縮減の取組	安全な管理体制及び事業実施に対して、適切な収支決算となっている。	○	○	
	縮減の取組がサービス低下につながらず、バランスが図られた事業内容となっている。	○	○	
	管理効率化等による余剰分を新たなサービス展開による施設効用の拡大につなげている。	-	-	
	新たな収入の創出等、経営の安定化に向けた独自の取組を行っている。	○	○	
適正な人員配置や人材育成の取組	適切な人員や有資格者の配置、勤務体制、労働管理となっている。	△	△	今年度は、特に、12月から病気療養休暇を取得した職員がいて、代替職員を配置することができず、他の職場からの応援勤務によって対応した。
	人材育成に対する積極的な取組が講じられており、職員研修等の人材育成に取り組んでいる。	△	△	今年度は、特に、12月から病気療養休暇を取得した職員がいて、その職員の担当業務を含め、施設の維持管理や日常業務の遂行を優先したため、職員研修などを行う余裕がなかった。
安定的な財務基盤による管理運営	指定期間で安定的な管理運営を行う財務基盤を有している。	◎	○	
事件・事故や利用者への対応	苦情、事故、トラブルを防止するための具体策や対処方法は適切である。	○	○	
	利用者の安全確保と緊急時の対応・体制は適切に整備されている。	○	○	
地域貢献への取組	市内業者の活用や地元雇用の促進など、地域振興に寄与する事業内容である。	○	○	
	地域と連携した事業の実施や、地域活動への参加等による地域貢献に取り組んでいる。	○	○	今年度は、特に市内中学校の職場体験実習を受け入れた。4中学校で計7名の生徒が、主に養魚業務を中心に体験した。高校生は4名体験した。

◎:協定等の内容を超える水準で業務を履行している ○:協定等の内容どおり業務を履行しており適正

△:協定等の内容に対し、一部不履行がある ×:協定等の内容に不履行があり改善の必要がある -:該当なし

3 業務実施上の課題(指定管理者が記入)

(1) 指定管理業務実施上の課題
1 近年、コロナ禍の影響もあり、有料入館者が減少傾向にある。その要因を分析することは難しいが、イヨボヤ会館の魅力高め、有料入館者の増加を図ることが課題である。 2 本館からミニふ化場への移動には、段差が多く、足の不自由な方には危険な状態となっている。また、車いすのお客様は、スロープがないため、観覧できない状態となっている。 3 サーマンシアターは、イヨボヤ会館だけでなく、村上市の観光宣伝にもつながる映像であり、わかりやすく表現されている。しかし、内容が古くなっており、新しい映像にする必要があると考えている。 4 お客様ニーズとしては、体験できる施設が求められているが、全体的に、展示しているものを見せるだけのものが多くなっている。 5 バックヤードとなる倉庫、展示魚や稚魚等を育てる作業スペースが不足している。
(2) 課題解決に向けた取組
課題解決に向けた取り組みとしては、ソフト面でできることを工夫して取り組んだ。 1 有料入館者の増加策としては、サマーナイトミュージアムや特別展などを開催し、誘客に努めた。また、キャッシュレス決済を導入しており、お客様の利便性向上に取り組んだほか、地下水槽やミニふ化場の水槽の塗りかえを行い、お客様に喜んでいただける施設管理に努めた。 今後の取組みとしては、観光客が参加できる「塩引き鮭を持って記念写真を獲れる」「魚に触れるタッチ水槽」等を企画している。 2 スロープがあるとお客様も移動しやすいが、現状は、必要に応じて職員が車いすの方を運んでいる。 3 観察自然館に動画放映コーナーを設置して、採卵作業からふ化までの様子を見ることができるように取り組んだ。観察自然館は、大水が出ると種川が濁り、魚が見れない状況になるため、そのような状況でも楽しめるものがより必要であると考えている。 4 2階部分において、パソコンゲームや木製パズルのほか、現代的なパソコンゲームやバーチャルリアティーのようなものがあると魅力は高まると思うが、現状の取り組みとしては、ミニふ化場において展示魚のエサやり体験や会館前でのつり体験、鮭公園のエサやりなど、体験できるものを増やしている。これらの体験には、お客様から好評をいただいている。 5 館内の整理整頓をして、不要なものは廃棄するなどバックヤードや倉庫の確保に努めているが、屋外ステージを利用していないことから、できればこの場所を更地にして、ミニふ化場などと連結した形で増設すると、倉庫や展示館等の増設ができて、魅力が高まると思う。今まで展示していなかった淡水魚の展示なども新たにできるようになると考える。
(3) その他
①利用者からの主な意見や苦情、対応策
1 市民からの声としては、何度も入館できる「年間パスポート(料金)」企画を望まれている。類似施設でも年間パスポートは企画されているため、今後導入を図りたい。
②その他

4 全体的な評価

(1) 指定管理者の評価
令和4年度は、新型コロナウイルスが一時期よりも落ち着きを見せてきたことから、有料入館者数が昨年度と比較して、少し回復して増加の結果となった。しかし、コロナ禍となる前の時期と比較するとまだ大幅に減少している状況にある。 さらなるサービス向上策を講じるとともに、広報宣伝活動を展開し、誘客促進を図っていききたい。 また、例年以上に修繕工事等を実施しており、改修・改善を進めることができた。地下水槽の壁やミニふ化場の床面・ふ化槽の塗りかえについては、職員が実施し環境改善を図った。今後も日常の施設・設備点検を実施し、良好な維持管理を図りつつ、さらなる工夫改善・サービス向上策を講じて、施設の魅力を高めていきたい。 全体的にみると、協定等の内容どおり業務を履行したところであるが、この状況に満足することなく、さらに高い評価となるよう、日々努力していききたい。
(2) 施設所管課の評価
コロナ禍で多岐にわたる制約がある中での運営でありましたが、入館者数は対前年比17%多い35,000人でした。大型観光ツアー客の入館が見込められない中、独自のPRで県内外の修学旅行客の集客に努めた。結果、40校、約2,000人の修学旅行の入館者があった。引き続きホームページやブログ、フェイスブックを活用し幅広い情報を発信し入館者数向上を図っていただきたい。また、自主事業や特にリピーターも多い「塩引き道場」についても計画どおり実施されており、指定管理者として適正に管理、運営されていた。
(3) 次年度の管理運営に対する指導事項等(施設所管課)
入館者数増加を目指す取り組みを積極的に計画し実施すること。また、人員不足が生じているため適切な補充を早急に対応すること。